第20回 やくも少年少女 ゆめ議会

11月25日(金)、「第20回やくも少年少女ゆめ議会」が、八雲町議会議場で開催されました。

今回は、中学生11人(うち1人が議長)が、日頃感じているまちづくりに対する提案や意見を発言しました。その内容をまとめて掲載します。

(ページの都合上、要約し掲載しています)

横田(よこた)　愛佳(まなか) 議員(熊石第一中学校2年)

観光資源をもっとPRして、産業の発展を

観光担当の方が、地域を視察し地域密着型の観光資源を探ってもらいたいです。また、近隣市町村と共同でまちや観光資源をPRし、ネットで特産品の販売など産業の発展に結びつけられないか検討をお願いします。

答弁)町長

3月26日に北海道新幹線が開業し、大勢の方々が北海道を訪れており、八雲町にもその観光客が旅行途中に立ち寄るケースが増えています。八雲町は農林漁業と素晴らしい資源があり、現在、その業種に携わる方々と町内視察や資源の活用方法等の議論をしています。また、八雲・今金・せたな・長万部で連携し、4町でクーポン付ガイドブックを発行するなどしています。このほか、町外の方が八雲町へ寄附すると町の特産品をお礼するふるさと応援寄附金制度を町のホームページや寄附金ポータルサイトでPRし、全道でも上位の寄附があります。この制度を利用しながら、北海道新幹線新八雲駅の開業を見据え地域の資源を積極的に発掘し、特産品のPRと地域の産業の発展のためご協力をお願いします。

奈良(なら)　諒介(りょうすけ) 議長(八雲中学校2年)

開会にあたり

本日はこのような素晴らしい場を設けていただいたので自分たちの意見を持ちしっかり発言しましょう。皆さん、八雲を良くするための質問を考えてきていると思います。質問だけではなく、再質問も期待しています。皆さん緊張していると思います。私もすごく緊張しています。不慣れな進行ではありますが、円滑にできるように努めますのでよろしくお願いいたします。

閉会にあたり

皆さんのご協力により「やくも少年少女ゆめ議会」の議長を無事に務めることができました。

議長席に座り会議を進め議場で質問することは、私たちにとって、初めての経験であり、緊張とともに、非常にうれしく思いました。この体験は一生忘れられない思い出になると思います。今日は、本当にありがとうございました。

今井(いまい)　双葉(ふたば) 議員(落部中学校3年)

小さい子も安全に楽しく遊べる施設を

身体を動かして遊べる施設はありますが、小さい子も安全に楽しんで遊ぶとなると不安があります。安全に楽しく遊べる以下のような施設を提案します。

①のびのびと遊べる　②学生も使える　③子どもが安全　④親子がふれあいながら遊べるなど、施設の中に遊具など小さい子たちが遊べたり読み聞かせできるコーナーがあれば良いと思います。

答弁)町長

現在、子育て支援センターには、乳幼児から大人まで利用できる一般開放の遊戯室、スポーツホールがあります。また、入園前のお子さんと保護者が一緒に遊べる場の提供や、子育ての仲間づくり・相談、育児の支援事業などを行っています。その他の屋内施設としては、パノラマパークがあります。子どもが安心・安全に遊べるスペースを拠点に、子育て中のお父さんお母さんが相談や短時間の習い事をしたり、また、子どもから高齢者まで集えるスペースで、子どもを中心に色々な世代の人達が交流し人が集えばつながりが生まれ、活動するようになります。人づくりにも発展します。今、八雲町では公共施設が古くなり、建て替えや集約化、利用形態を見直す時期になってきていますので、参考にし今後のまちづくりに役立てたいと思います。

相原(あいはら)　美海(みみ) 議員(熊石第二中学校2年)

もっと便利な町にするために

私は、全ての町民にとって便利な町になってほしいと思います。私が住む熊石は八雲地域本町に比べ、買い物をするための手段が少し不便です。近くにスーパーやコンビニを増やしたり、ネットでの買い物をもっと利用できないでしょうか。一人暮らしの高齢者の方など買い物に行く車がない方がいます。そこで、空き家を利用してネットの買い物スペースを作れば高齢者の方々も買い物ができるのではないでしょうか。

答弁)町長

熊石地域は高齢化が進み、9月末現在の熊石地域の高齢化率は48.9%となっており、商店経営も同様に高齢化と後継者不足や人口の減少による売り上げの減少などから、平成16年に28店舗あった店も、現在では14店舗にまで減少しています。空き家を活用したネットで買い物をできるスペースについては、空き家の所有者の考え方や使うための改修が必要です。さらに、ネットでの購入は地元以外から買い物をすることになり、結果的に地元商店の経営を厳しくしますので、推進は難しい面があります。しかし、利便性の向上や空き家対策、高齢者コミュニティを考えた場合には、とても素晴らしい提案だと思いますので、今後の熊石地域の商工行政の参考にさせていただきたいと思います。